

住まいの お手入れ BOOK

お客様番号



OPEN HOUSE Architect

■キッチンについて.....	3
■ユニットバスについて.....	5
■浴室換気乾燥機取り扱いについて.....	9
■特定保守製品と点検について.....	11
■洗面台排水に関するメンテナンス.....	11
■洗面台 排水トラップの清掃.....	12
■シャワーホース水受けについて.....	13
■玄関扉の取り扱い.....	14
■24 時間換気メンテナンス	15
■各部屋の給気口について.....	17
■換気扇メンテナンス.....	18
■木造住宅の特性.....	19
■サッシ取り扱い説明.....	20
■床下換気（スーパー D）外断熱仕様	23
■火災報知機.....	25
■引き戸調整（建具調整）	26
■ラッチ部分調整.....	27
■クローゼット扉調整.....	28
■開き戸調整.....	29
■照明器具について.....	29
■その他、注意事項.....	30

建物入居後における注意事項



①暖房機について

絶対に開放型石油ストーブ、及びガスストーブを使用しないでください。（FF 式ストーブを使用してください。）室内の気密性が高い為、酸欠になる可能性が有ります。又、室内結露が発生しやすくなります。壁紙が非常に早く汚れてしまいます。室内の空気が汚れ、その結果、体や健康に被害が出ます。特に乳幼児に影響が出やすくなり、吐息や気管支障害が発生しやすくなります。やむなくご使用になる場合は、十分に換気をしてください。



②換気システムについて

換気システムのスイッチは絶対に切らないでください。現在は建築基準法で定められた様に、換気システムは 24 時間連続でまわさなければなりません。建材や家具その他の家庭設備や備品より、ホルムアルデヒドや有機溶剤が発散し、それが健康に被害を与えます。これらの物質をたえず除去する為に、必ず換気扇を回してください。



③排水口について

ユニットバスの排水口のゴミの詰まりが非常に早い為、こまめに髪の毛などを取り除かないと穴が詰まり、すぐに水が溢れてしまいます。ぜひ、こまめに掃除をしてください。又、洗面所の排水口の中のゴミも同様に掃除をしてください。



④フィルターについて

24 時間換気システムのフィルター掃除を 2・3 ヶ月に 1 回、必ず掃除をしてください。エアコンのフィルターも毎月掃除をしても、かなりの埃が付着して汚れています。同じ様に 24 時間換気システムも必ずフィルター 2 ヶ所を年に少なくとも 4 回ほど、掃除をしていただきたいと思います。



⑤ベランダについて

ベランダ排水口をたまに掃除してください。特にパラペット（玄関上ベランダ）等の排水口にボールや枯葉が詰まり、大雨の時オーバーフローをし、建物内部に水が浸水する事があります。ベランダ・パラペット内は特に、掃除をこまめにする様心がけてください。



⑥トイレについて

トイレットペーパーを過度に使用しないでください。又、トイレットペーパー以外の紙の使用は絶対に避けてください。水を節約する為に、タンクの中にある一定の容量の物を入れ、節水すると、やはりトイレの詰まりの原因になる恐れがあります。ある一定の水量はたえず確保し、定期的に水を流してください。又、何ヵ月もトイレを使用しなかったり、洗面化粧台を使わない場合でも、排水トラップの中の水が蒸発しない様に、たまには水を流してください。臭気が上がるのを防止できます。



⑦ブレーカーについて

ブレーカーを下げないでください。特に冬期に長期不在になる場合など、ブレーカーを落として出かける場合がありますが、給湯器の冬季凍結防止ヒーターが入っていますので、ブレーカーを落とされると、給湯器が凍結し、故障の原因となります。絶対にブレーカーは落とさないでください。



⑧入浴剤について

浴槽の中に入浴剤を入れないでください。入浴剤がパイプの中に付着し、給湯器の故障の原因となります。入浴剤をご使用の際にはよく商品の説明を読み、問題のない商品をご使用ください。



⑨洗濯機パンについて

洗濯機下の排水トラップの中のゴミを定期的に掃除してください。洗濯物等から出るゴミが詰まると、水漏れ等の原因となります。



⑩洗面化粧台について

洗面化粧台の下排水のジャバラを他の荷物で押ししたり、動かしたりしないでください。抜けて水漏れ等の恐れがあります。



⑪小さなお子さんのいるご家庭について

転落の危険がありますので、ベランダや窓際に物を置かないでください。フローリングの上を靴下を履いて走ると、滑りやすく危険です。浴槽の水を溜めたままにしないでください。



⑫湿気について

浴室は大量の水蒸気が発生する場所です。換気扇の使用と湿気を早めに外へ出すよう心がけましょう。



⑬給湯器について

給湯器の排気口は高温になりますので、触れないでください。給湯器の吸気口の近くに物を置くと、点火不良を起こす原因になります。冬期間に長期的に家を空ける場合でも、給湯器の主電源を入れたままにしてください。そうしないと凍結して、壊れてしまう事がありますのでご注意ください。



⑭コンセントについて

アースする必要がある電気器具は、必ずアース線を接続してください。雷の激しい時には、テレビ・給湯器等設備機器のプラグを必ず抜いておきましょう。一つのコンセントから何か所も器具を使うのは危険ですので絶対にやめてください。



⑮ガスコンロについて

ガスコンロは正しい炎になるように空気調節をしてお使いください。バーナーの目詰まりは不完全燃焼のもとですので、時々専用ブラシで掃除をしてください。ガスコンロを使用する時は、必ず換気扇を回しましょう。



⑯非常用設備・備品について

懐中電灯や室内用脚立、外用折りたたみ式はしごを用意して置きましょう。



⑰室外機について

エアコン等の室外機の前に物を置かないようにしてください（エコキュートの室外機も同様）。エアコンが正常に機能しない原因となる他、物が溶けたり引火の危険があります。



⑱ペットのいるご家庭について

臭いや傷、シミが付きやすいのでこまめにメンテナンスをしてください。ペットの毛で室内が汚れやすいので、こまめに掃除をしてください。



⑲フローリングについて

水分等のシミをつけてしまったら、内部に染み込んで乾かないうちに早く取るようにしましょう。フローリングは、水が大敵ですから絶対に水分の多いワックス等は避けてください。



⑳レンジフードについて

換気扇は取り外しが出来るので、時々掃除をしてください。特にフィルターは油分やホコリが付着し、吸い込みが悪くなると機能が低下します。

㉑設備の取扱い説明書について

様々な設備が設置されていますので、必ず事前に取扱い説明書を読んでください。安全で経済的にご使用していただくためには、取扱い説明書に沿った適性な使い方が必要です。

■掲載の記号について



禁止！ 大きな害を及ぼす恐れがありますので、絶対に行わない様にしてください。



注意！ 場合によっては害を及ぼす恐れがありますので、注意してください。



推奨！ 住まいを継続的にご使用するにあたってのポイントですので、参考としてください。

レンジフード

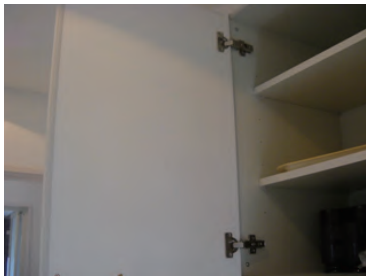


- ・窓や給気口を開けて換気をしてください。



- ・フィルタ交換の際は必ず専用のフィルタをお求めください。
(スロットフィルタ右下の品番を確認)
(取り付けの際、火災の恐れがありますので注意してください)
- ・お掃除は中性洗剤をお使いください。
- ・スロットフィルタは一ヶ月を目安にこまめにお掃除をお願い致します。

キッチン



- ・扉がガタついてる時は、丁番のネジで調整できます。
- ・耐荷重の目安
棚板(底板) 1枚…約20kg
引出し1段 (樹脂引出し) …約5kg
(金属引出しA) …約12kg
(金属引出しB プルモーション機能) …約20kg
開口15cmのスライドキャビネット…約10kg
ムーブダウン吊戸棚…約15kg
- ・シンク下の引出しに収納するものは、収納の高さに注意してください。
排水器具に当り破損の原因になるので注意してください。
コンロ下も同様です。
臭気止がゆるんでいると、排水から音や臭いがすることがあります。
その際は臭気止を右に回してください。



臭気止
右回し→ロック
左回し→外す

排水プレート

網カゴ

- ・熱い油なべ、沸騰したやかんなど、熱いものをワークトップやキッチンパネルに直接触れないようにしてください。なべ敷きなどをお使い下さい。
- ・シンクの浅型カゴは調理くずをためずに、こまめに取除いてください。
- ・キッチンパネルはスポンジや柔らかい布に中性洗剤をつけて拭き取り水拭きしてください。水拭き後は必ず乾拭きしてください。ブラシやモップ等を強く当てますと、キズやへこみの原因になりますので注意してください。

ガスコンロ



手前の左…強力バーナー 手前の右…標準バーナー 真中…小バーナー

小バーナー

- ・着火は単1形乾電池により点火します。交換時期が近づくとランプによりお知らせします。

標準バーナー

強力バーナー

温度センサー



- ・3口とも温度センサーが付いております。自動で火力を調整し、高温になりすぎた時や連続30分使用した時、自動で火が消えます。



- ・ガスコンロの下にはガスの元栓があります。

元栓

12時方向→解除 ガスがでます。
3時方向→ロック ガスは出ません

食器洗い乾燥機



- ・お客様カードの登録をお願いする事
 - ・排気口は湯気・温風が出てやけどをする恐れがありますので注意してください。
 - ・洗剤は専用の洗剤をご使用してください。
 - ・排水フィルタを取り外しこまめに清掃してください。
- 取り外した際は、確実にセットしないと安全装置が作動する事があります。



フィルタを取り外しこまめに清掃してください。2日以上使用しない場合も同様です

- ・必ず取り扱い説明書を読み食器にあった入れ方や入れてはいけない物、かごやノズル等を外してのお掃除のしかた等を把握してから、お使いください。

シャワー水栓



- ・2Fなどの場合お湯になるのに時間がかかります。
- ・カートリッジは約3ヶ月で交換をしてください。カートリッジはハガキ登録をお勧め致します。
- ・水栓の下には止水栓があります。温度調節やハンドル交換に使用します。
- ・ホース入り口部分には水をかけないで下さい。シンク下に水がいてしまいますので注意してください。

直接水を入れないこと

カートリッジ入り口

浴室は常に換気・乾燥をしてください。

物干し用のバーは重量に制限があります。（3kgまで）あまり重たい物を干すとたわみますのでご注意ください。



シーリング材・目地材はカビが繁殖しやすいところなので小まめにお手入れしてください。シーリング材は約5年ほど（浴室環境やお手入れ方法で異なる）で、やせて隙間が生じ漏水の原因になりますので、シーリングの取替えが必要になります。（有償工事です）お手入れ方法として、日常は浴室用洗剤（中性）をスポンジに付け軽くこすり十分に洗い流してから、乾拭きします。頑固な汚れは、カビ取り洗剤をつけ数分置き、洗い流して乾拭きしてください。



循環金具フィルター・追い炊き部のフィルターを週に1度清掃してください。目詰まりが起これると湯沸し機能が正しく働かないことがあります。



【はすず】の方に回すとカバーが取れますので、シャワーで洗い流し、汚れのひどいときはブラシにて清掃してください。

ポップアップ水栓や洗い場の排水口は週に1度、ゴミや髪の毛を取り除いてください。

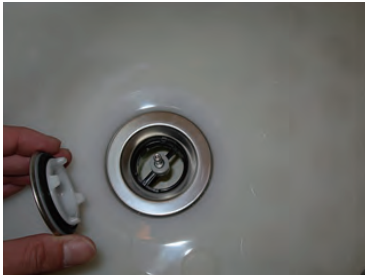


ポップアップ水栓（排水のボタン）を押します。



排水栓のフタが開きます。

ユニットバス取り扱いについて



排水栓のフタを引き上げると取れますので、ゴミを取り除いてください。

3～6ヶ月に1度はエプロンを開けてエプロン内を洗ってください。洗い場の水が微量にたまる場合があります。



エプロンとは浴槽の前面カバーのことを言います。



左図のように手がかり部分を手前に引っ張るとエプロンが外れます。



エプロンを外し清掃します。清掃後は逆の手順にて取り付けます。
お湯が張っているとエプロンが取付けにくい場合がありますので、お湯を抜いて清掃してください。

排水口の清掃について



浴室の排水口・フタを開けます。



中のヘアキャッチャーを取り髪の毛などを取り除きます。



左写真の封水筒を取り外し清掃します。



浴室用洗剤をスポンジや歯ブラシに付けて洗い流します。掃除を怠ると悪臭の原因にもなりますのでご注意ください。

水栓器具について



サーモスタット式の水栓は温度調整に注意してください。高温を出すときはストッパ一解除ボタンを押しながら回してください。目盛りは目安です。温度を確認しながら調整してください。

テレビ用分配器について



ユニットバスの天井を開けると、天井裏にテレビ用の分配器と電源が設置してあります。アンテナ・ケーブル工事業者にお伝えください。（ブースターは設置されていません）



天井点検口を開けて覗くと設置されています。

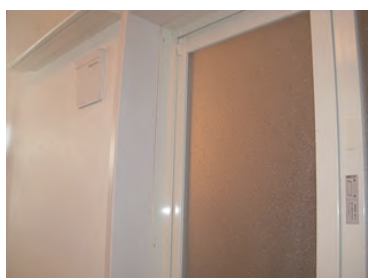


左写真はテレビ用分配器です。



左写真は電源用コンセントです。

浴室用テレビを見る為にはカード挿入が必要です。



B-CAS（ビーキャス）カードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。B-CASカードリーダーは洗面室などの浴室外に取り付けられています。分電盤のブレーカーを切った状態で抜き差ししてください。



左写真がカードリーダーです。

ユニットバス取り扱いについて



カードリーダーを開けカードを挿入します。
地デジ機器には「B-CASカード」と呼ばれるICカードがついてきます。B-CASカードは地デジの視聴に必須のカードで、デジタル放送の著作権保護や有料放送の視聴のために利用されています。



テレビ画面をきれいに保つには毎日のお手入れが必要です。水滴を布で拭き取り、水あかが付かないようにしてください。指紋や水あかが付いた場合は水で薄めた中性洗剤を布に浸し拭き取り、その後、乾いた布で水滴を拭き取ってください。石鹸やシャンプーなどがかかってしまったら、すぐに拭き取ってください。放置すると画面が見にくくなったり変色や変形、故障の原因にもなりますのでご注意ください。

浴室換気乾燥機取り扱いについて

浴室換気リモコン



- 【換 気】強弱の設定があります。
- 【涼 風】涼しい風がきます。エアコンの冷房ではありません。
- 【予備暖房】入浴前30分ぐらい前に運転するのがおすすめです。入浴中に暖房をしても風が動いてると寒く感じることがあります。
- 【乾 燥】洗濯物を乾かすときや、浴室を乾燥させるときに使います。
洗濯物は良く脱水してからお使いください。入り口の給気口はふさがないでください。（通気が必要です）
- 【24 換 気】24時間常に換気をします。涼風・暖房などを使っている際は点滅し一時停止になります。基本は常につけたままですが、24換気を切りたい場合はこのボタンを長押しすれば停止します。

入浴後は必ず十分に換気を行ってください。
水滴によりカビや結露の原因になります。
24時間換気は常に運転してください。結露防止と居室の24時間換気にもなります。
24時間換気は入浴時に一時停止を押して、入浴後は再び24時間換気を運転してください。

浴室換気乾燥機のお手入れ



換気カバーやフィルター部分は月に1度は清掃し、中に入っている除菌フィルターも掃除機等でお手入れしてください。汚れがひどいときは半年に1度清掃が必要です。目詰まりすると機能が低下します。



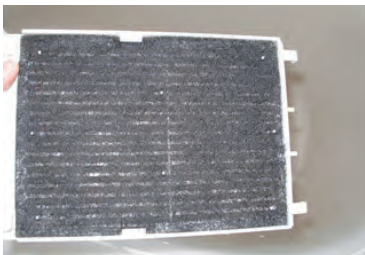
吸い込みグリルを横に引き本体より外します。



ダブル除菌フィルター（黒いフィルター）を外します。

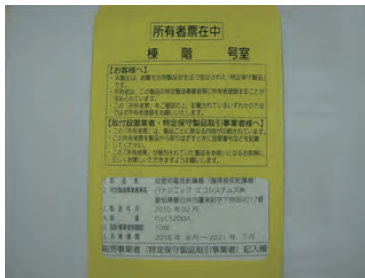


ダブル除菌フィルターを外して掃除機でホコリを吸い取ってください。または手で叩いてください。汚れがひどいときは半年に1度程度ぬるま湯に浸し押し洗いして自然乾燥してください。もみ洗いはしないでください、洗剤も使用不可です。

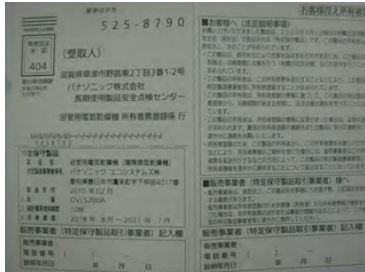


清掃後はフィルターを吸い込みグリルの枠に合わせ、グリルのつめの中に納まるように押し込みセットしてください。

特定保守製品と点検について



消費者生活用製品安全法で指定される「特定保守製品」です。
これは長期使用による事故を未然防止する為に点検期間内に点検を受けていただくことが求められています。所有者登録票に記入し返信はがきを投函してください。
点検期間が近くなりましたら製造事業者から点検の案内が来ますので、希望日等を指定し点検の申し込みをしてください。この点検は有償になります。
浴室乾燥機と食洗機が対象となりますので引き渡し書類内の書式に従い必ず登録してください。

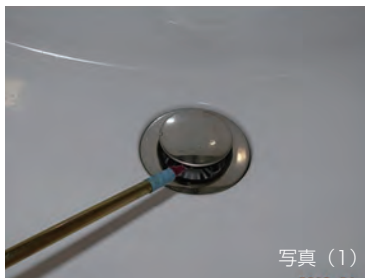


左記の申し込み書はお引渡しの際お渡しする、取り扱い説明書をファイルにまとめた中に入っています。
内容を良くお確かめの上ご記入ください。

洗面台排水に関するメンテナンス



日ごろの排水口のゴミ除去は写真（１）の指し示した部分を手で持ちあげていただくと写真（２）のようにヘアキャッチャーがありますので、清掃後元に戻して お使いください。



ヘアキャッチャーを取り外したまままでのご使用はお控えください。物を落とした場合に排水つまりの原因になりますので ご注意ください。





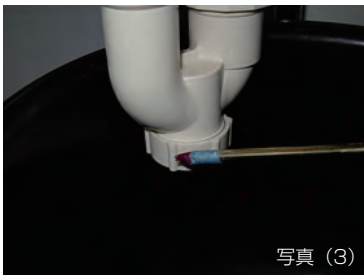
洗面台の扉を開けていただき奥を覗いて頂きますと給水、給湯、排水の各管がみえます。排水管の曲がった部分の名称はトラップといいます。常に水が溜まっていて その水で蓋をし、下水の臭気が上がらないようにする役割りをしています。ヘアキャッチャーをすり抜けたゴミが溜まりやすい部分でもあります。



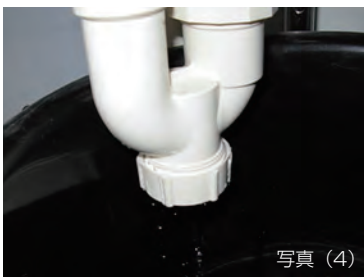
清掃は写真（１）の指し示した部分を外して行います。



管の中に水、ゴミがたまっていますので まず、小さめのバケツを写真（２）のように置いてから作業を始める事をお勧めいたします。



写真（３）の指し示した方向にキャップをひねりますとキャップがはずれます。



キャップが緩みますと写真（４）のように水が出てきます。



写真（５）が外れた状態です。キャップが外れましたら、下から割り箸、歯ブラシ等で穴の中を軽くこすってみてください。髪の毛等がキャップを取り付けるさいにはキャップの内側も清掃してから取り付けを行ってください。

シャワーホース水受けについて



洗面台の蛇口はシャワー切り替え式、及び格納伸縮式ホースを採用しております。
構造上 ホースをつたった水が下でしたたってしまう事は避けられない物となっています。
ホースをつたった水は洗面台下の水受けにたまります。
水受けは 取り外す事ができますので水が溜まっているようでしたら、外して水を捨てるようにしてください。
外す際は少し持ち上げ、手前に引きますと外れた状態となります。写真 (1)



水受けの中にはホースが差し込まれていますので横にずらしながら 少しずつ傾けていき ホースを水受けから取り出します。
写真 (2) ~ (4)



静かに傾ければ 水がこぼれにくい構造になっていますので写真 (3) 程度に傾けても差し支えありません。



写真 (4) になりましたら 洗面台からだして水をすてて下さい。
取り付ける場合には逆の手順で行いますが水受けの中にホースを差し込む事を忘れず
をお願いいたします。

玄関開閉に関して



引渡し時玄関は約90度にて固定されるよう調節してありますが時間が経つにつれて再調整が必要になります。

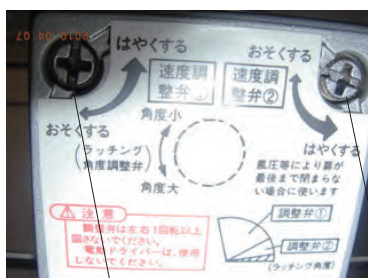
その手順として・・・

1. アームの中心にあるネジ（ピンの時も有る）を緩めアームを下へ引くと角が動くようになります。
2. 角の部分固定したい方向位置まで動かしネジをしめる。

ネジ（ピン）

角

玄関を閉める時の速度



引渡し時はあらかじめ調整された速度でしまりますがこちらも時間が経つにつれて調整が必要となります。

調整の手順

1. 内玄関の吊元上部にドアクローザーがあります。
2. その側面に①②と番号がふってあるビスがあります。
3. ①のビスを回すと開放時から閉まる30度手前までの扉の速度を調整することができます。
4. ②のビスは残りの閉まるまでの速度を調整できます。

*ビスは少し回すだけで速度が変わりますので注意してください。

第一調整ビス

第二調整ビス

玄関鍵について

上下二カ所に鍵が付いています（下はお出掛けサムターン）外部からの鍵は上下とも同じ鍵になります。

*外部からの鍵のすべりが良くない場合は鉛筆の芯の部分で数回鍵をこすって下さい。

決して市販の油等を注さないようにしてください。油にほこりが溜まりシリンダーが壊れてしまいます。

お出掛けサムターンについて

お引渡し時に上部の鍵と同じつまみをお渡し致します。

防犯対策の為に外してお出掛けになられる前に外して持って外出して頂きます。

サムターンを外す事によって仮に玄関扉のガラス等を破られてもつまみが無い為鍵が開けられない仕組みになっています。

*外出時つまみを持って外出し上下の鍵を掛けていますと内部から鍵が開きませんのでご注意ください。

ドアチェーンについて

枠についているあおりを倒して頂きドアについているチェーンをあおりの方へスライドして頂き玄関ドアをゆっくり開けるドアチェーンとして使用出来ます。

解除時は逆の手順にて解除してください。

*おののの部品は枠・扉にビスで固定されているだけです強く開閉すると破損する恐れがありますので開閉時は優しくお願いします。



24時間換気は24時間稼動してください。

熱交換型で、外気を室内温度に近づけて換気します。

お手入れ方法は、次の通りです。



- ① 本体下部のつまみを2箇所回しフィルターを外します。
※この面より室内の空気を吸い込み外部へ吐き出します。
このフィルター掃除機にて吸引後中性洗剤の薄め液にて洗浄してください。



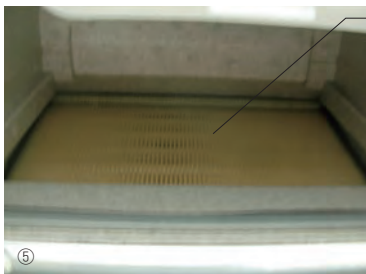
- ② 表面のフィルターを外すと中に発砲スチロールのケースがあります。
このケースを取り外します。



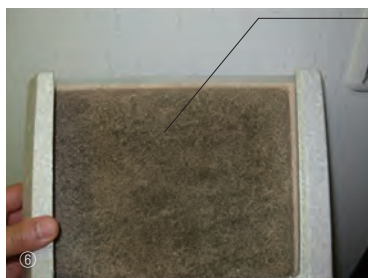
- ③ この発砲スチロールのケースはネジ(手で回る)を緩めストッパーを外します。



- ④ 発砲スチロールを抜くと内部にフィルターがあります。
このフィルターが防虫フィルターです。
このフィルターで外部から一緒に吸い込まれる大きなゴミや虫をブロックする為のフィルターですのでこまめな点検掃除をしてください。



- ⑤ 防虫フィルターの対面に有るのが素子フィルターで、こちらで室内の空気の熱を交換しております。
熱交換素子は年に1～2回程度お手入れしてください。
掃除機で表面のゴミ・ホコリなどを吸い取り、乾いた布で汚れをふき取ってください。



- ⑥フィルターケース内の給気清浄フィルターは掃除機での吸引のみにして下さい。
このフィルターは、茶カテキンが付着されておりますので絶対に水洗いはしないでください。
性能が著しく落ちてしまいます。

※茶色く変色する場合がありますが性能に問題は有りません。



- ⑦給気清浄フィルターの片面に素子側と記載が有ります。



- ⑧発砲のフィルターケースにも同様の素子側と記載があります。
フィルターと向きを合わせると無理なくセットできるような形状となっております。



- ⑨発砲のフィルターケースを戻す場合も同様で、素子側を本体中央に向けますと無理なく収納する事ができます。



- ⑩外壁に取り付けしている外部フードは網状になっているため大きなゴミは引っかかり室内に入らないような構造となっているため年に数回は必ず点検清掃してください。

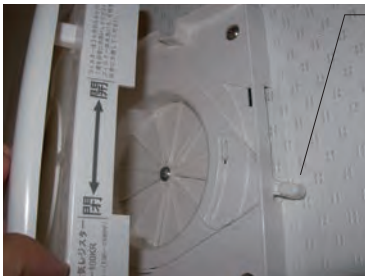
各部屋の給気口について



各部屋に取り付いている自然給気口これより給気し、トイレ等の換気扇にて外部へ排気します。



本体右側に開閉の記載があります。
レバーを上げると開きます。



レバーを下げると閉まります。



メンテナンス方法は給気口本体を手前に引っ張るとカバーが取れます。



表面カバーにフィルターが取り付けされておりますので1ヶ月に1回程度掃除機で清掃してください。
汚れがひどい場合は水洗いしてください。
ボロボロになってしまいましたらホームセンター等で購入してください。

換気扇のメンテナンス



稼動していると表面にホコリが溜まりますので1ヶ月に1度程度電源を切ってからカバーを外し清掃してください。



壁にスイッチが無い場合は、本体左側にスイッチがございますので電源を落として清掃してください。

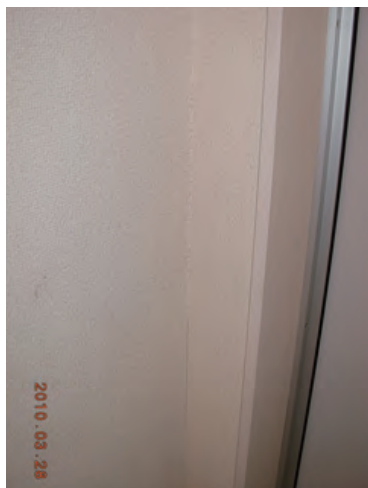


レバーを下げると閉まります。



外壁に取り付けしている外部フードが網状になっているため大きなゴミは引っかかり室内に入らないような構造となっています。年に数回は必ず点検清掃してください。

壁クロス隙間の例



木造住宅なので材料が湿気を吸います。
それによって多少材料が伸縮します。
その際に、建具の建てつけの調節が必要になる場合があります。
壁クロスも部屋の入り隅がすいてくる場合があります。

材料は乾燥材（15%以下）を使用しています。
建物を長持ちさせる為に、こまめな換気をしてください。

訪問販売に関する注意（インターホン）



以前に起こった事例で、「オープンハウス・アーキテクトに依頼されてきました。」
と突然訪問する業者が居りましたが、当社はアフター部又は、現場担当者からお客様にご連絡してから業者、担当者が訪問いたします。

インターホンご使用の際に、来客時最初は、モニターボタンで外部の映像と音声を確認して頂き相手が確認できましたら通話ボタンで会話をしてください。

外部に関する説明



アンテナを屋根につける場合にアンテナ業者が軒樋の金具等に控えを取りますと、雨樋の勾配が変わりますので、アンテナを屋根につける場合は工事業者に注意するようにお伝えください。

雨樋の掃除はこまめにしてください。

基礎幅木はモルタル仕上げで塗ってありますので、時間がたつと細かいヒビ（ヘアクラック）が入りますが基礎コンクリートが割れているわけでは、御座いませので、ご安心ください。

基礎幅木ヘアクラック



外壁モルタル仕上げの場合も、年数がたつとヒビが入る場合があります。その際は隙間を埋めてタッチアップ処理になります。

又、外壁塗装の耐用年数は約7～8年ですので、これを超えましたら必ず、塗装工事を行なってください。放置しますと雨もれなどが発生する可能性があります。ごぞいます。

ヘーベルなども同様です。

サイディングはコーキングが経年劣化しますので定期的に点検をお勧めいたします。
コーキングは製品で2年保証です。
5年位を目安にやり替えをされたほうが宜しいかと思ひます。

※設備関係のマスはたまに掃除してください。地面から見えているマスは掃除口も兼ねております。

※引き違いサッシ・上げ下げサッシについては3箇所でロックできるようになっています。

1 箇所目

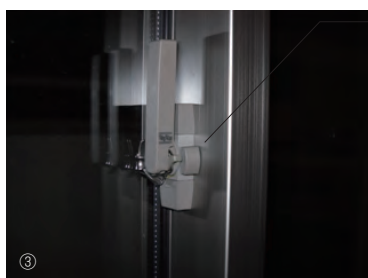


①クレセント解除状態



②クレセントロック状態

2 箇所目（クレセントの上げ下げをロックする為のものです。）



③上に上げた状態（クレセントは動きます。）
下に下げた状態（クレセントは動きません。）

3 箇所目



④解除状態



⑤ロック状態

※この状態ですとクレセントでロックがしてなくても窓は開きませんのでご注意ください。

クレセントの調整

お引渡し時にはクレセントにつきましては調整をしておりますが、ご使用の頻度に応じて調整が必要になることがあります。



⑥クレセントを横にしてください上下のキャップをはずします。



⑦固定用のビスがあります。
緩めていただきますとクレセントが上下に動きます。
調整の後は必ず固定用ビスをしめてください。

クレセントの受け側にも調整するためのビスがあります。



⑧2本のビスを緩めていただきますとクレセント受金物が左右に動き調整できます。

※ビスの受けナット落ちてしまうとサッシを解体しないと取り出せませんのでビスの緩め過ぎに注意してください。

※上げ下げ窓の清掃方法

上げ下げ窓には外面を清掃する為に内側に倒せる機能がついています。

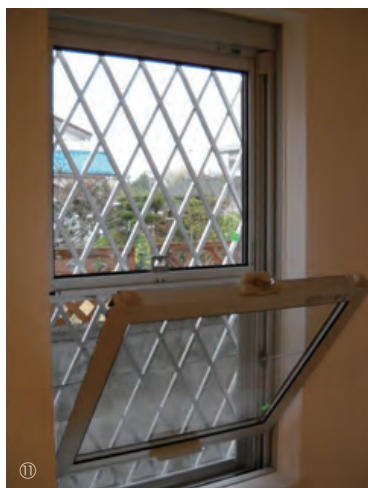


⑨上げ下げ窓のロックが解除されているのを確認します。

下窓の両側の上部にボタンがあります。



⑩5～6cmサッシを上げた状態でボタンを押しながら横へづらします。



⑪そのまま内側へ倒します。

戻すときは逆の手順です。

網戸のはずし方

引き違いサッシの網戸には落下防止用の外れ止めがついています。



⑫矢印のビス（両側についています）を緩めてください。

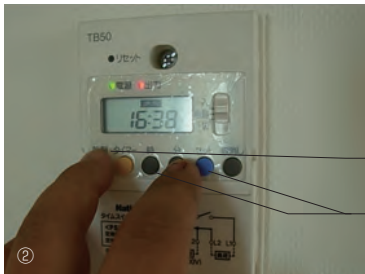
外れ止を下げていただき、網戸をはずしてください。
再度網戸をはめる時は必ず外れ止めを使用し固定してください。網戸が落下する恐れがあります。



床下は外気と遮断されていますので湿気が多くなっています。
その為に床下の結露湿気を極力なくす為に換気装置が必要です。
換気装置を止めてしまうとカビや結露になってしまう原因にもなりかねません。
電気料金の目安ですが月額130円（1日作動時間）（6時間使用の場合です。）



①カバーをあけます。



②時刻(時計) セット
（例）16時38分に合せる場合
1・時刻ボタンを押す
時計合わせが完了するまで押し続けます。

左の指は時刻ボタンを押したままです。

時・分ボタンを押し時刻に合わせ、セットボタン（青）押すと0秒にリセットします。
時計には月±15秒の誤差がありますので半年に一度合わせ事をお勧めしています。



③タイマーセット
時刻設定と同様にまずは、タイマーボタンを押し続けます。

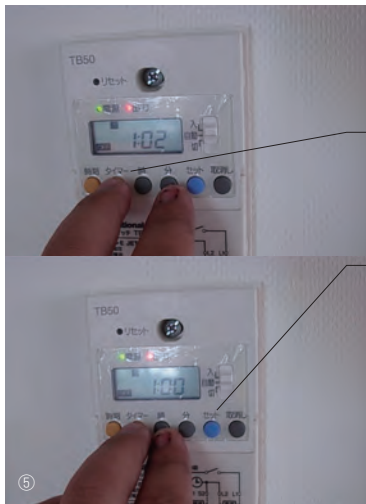


④作動開始時間を設定します。
1・タイマーボタンを押す
時計合わせが完了するまで押し続けます。

左の指は時刻ボタンを押したままです。



時・分ボタンを押し時刻に合わせ、セットボタン（青）押すとセットされます。



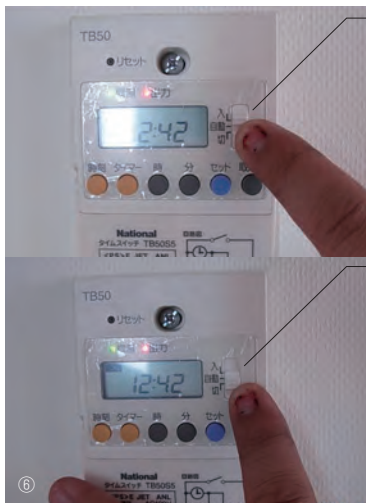
⑤作動終了時間を設定します。（1時02分に設定）

1・タイマーボタンを押す

時計合わせが完了するまで押し続けます。1・タイマーボタンを押す

左の指は時刻ボタンを押したままです。

時・分ボタンを押し時刻に合わせ、セットボタン（青）押すとセットされます。



⑥入り切りスイッチ

時刻画面を見ていただくと連続・自動があります。

入りはタイマー関係なく連続運転します。

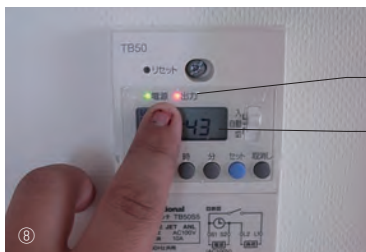
切りはタイマーに関係なく停止します。

自動はタイマー設定で動きます。



⑦リセットボタン

リセットボタンを押しますと時刻・タイマー設定が設定しなおしになります。



⑧故障と思われるお知らせ

出力ランプが付いている時は、作動しています。

TB5001のエラーが出ましたらオープンハウス・アーキテクトに問い合わせください。



⑨床下の換気をしている機械です。

この換気装置を利用して外部に換気しています。



煙感知式火災警報器 写真 (1)

写真で指し示したボタンを押すと音になります。

定期的に作動するかをチェックしてください。

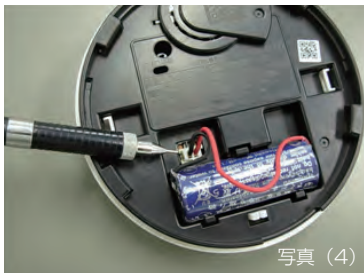
写真は煙感知式警報機ですが熱感知式も操作方法等 これからの説明内容は共通の物となりますので 省略させていただきます。

電池交換をする場合は天井付けの台座から本体を外して 行うことになります。

写真 (2) で指し示した部分に 位置あわせの表示があります。



矢印の方向に回すと写真 (3) のように外すことができます。



本体裏面に 写真 (4) のように電池が格納されています。

電池は専用リチウム電池で 約10年の寿命があります。

説明書の電池切れの合図がなりましたら メーカーのお客様相談窓口
0570-080100へお電話をお願いいたします。

交換の際は 写真 (4) で指し示したコネクタを外していただき、新しい電池を取り外しと逆の手順で取り付けてください。

電池をセットしたら、写真 (1) のボタンを押して作動チェックをしてください。



プラスドライバーがあれば調整できます。

建具の左右の調整

建具の上下の調整が出来ます。



長くご使用していただく為にメンテナンスや調整も必要になります。

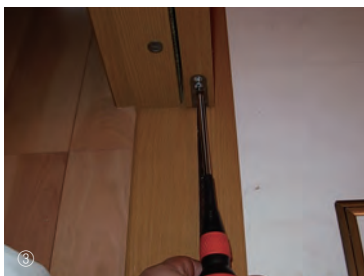
①上下の調整方法ですが右に回すと上へ動きます。
左に回すと下へ動きます。

上から二番目は上下の調整です。

上から三番目は左右の調整です。



②この様に回す事により部屋との明りや隙間を無くす為の調整です。



③引き戸レール部分はゴミがたまりやすい為引き戸の動き等固くなりやすくなります。
掃除機等で吸ってメンテナンスしてください。
水拭きしても良いですが必ず乾拭きをするようお願いします。
（木製ドアなので反る原因になってしまいます。）上部にソフトクローズが付いています。

プラスドライバー（１本）があれば調整できます。

建具の左右の調整

建具の上下の調整が出来ます。

長くご使用していただく為にメンテナンスや調整も必要になります。



ラッチ受けですが、左右動かす事によりドアのガタツキ・閉まりにくさを調整するものです。

ラッチ受け部分を調整する時は必ず窓は閉めてから行ってください。風による急に扉が閉まり手足が挟まれあるので十分注意してください。

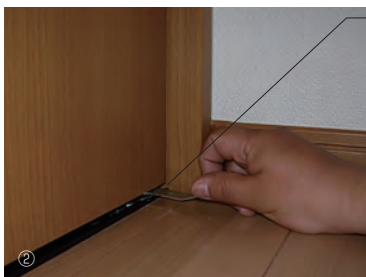


戸当りにあたるマグネットキャッチです。

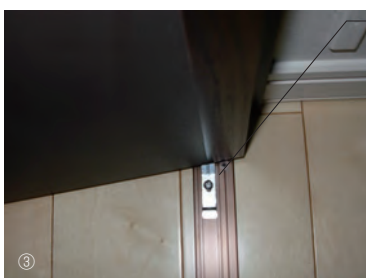
ワックスを直接かけますと床の金具が上がらない為注意してください。



①の付属部品が付いてきますのでクローゼット扉の吊り元で調整します。



②のように差込右へ回すと上に上がります。
左へ回すと下がります。



③左右の調整です。
調整ラインに3本ラインが書いてあります。
そのラインに合わせてプラスドライバーで調整します。



④折れ戸に手を挟まれないように閉めるときには十分注意してください。

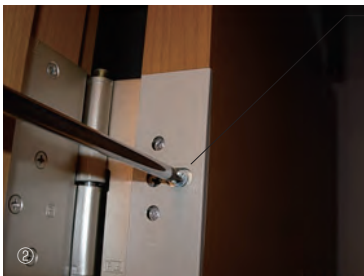
開き戸調整



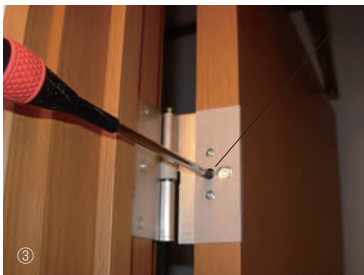
プラスドライバーで調整します。
ラッチと同様に調整する時は窓を閉めてからお願いします。



①固定ネジを緩めます。



②左へ回すとラッチ側に動きます。
右へ回すと丁番側に動きます。



③前後の調整です。
右に回すと前に出ます。
左に回すと後ろに出ます。
この調整は開き戸の垂直を見る為です。

照明器具について



人感センサー

壁のスイッチを1.5秒内にカチカチと押してしまうと6時間連続点灯になります。
その場合1回押してOFFにし3秒くらいたってからON1回押しにするとセンサー反応になります。
1回押すと夜になってもつかなくなります。
その場合は1回ONにする。
器具により違う場合があります。



ホタルスイッチ

照明が消えていると緑色のランプがつかます。

■玄関ドアの説明書を必ずお読みください

- ①ドアの鍵について。
 - ②ドアのアームについて。
 - ③お手入れ方法について。
-

■白山式床下暖房

- ①フィルター。
 - ②コントローラー。
 - ③床下に可燃物を絶対に置かないでください。
-

■フローラーのお手入れの仕方

- ①ノンワックスの時はワックスをかけないでください。
 - ②水をこぼしたら早めに拭きとってください。
-

■エコキュートの使用上の注意

- ①説明書を必ずお読みください。
 - ②電源を落とさないでください。
 - ③近くに物を置かないでください。
-

■床暖房

- ①フローラーが伸縮します。
 - ②赤ちゃんを床に長時間直接座らせたりしないでください。低温やけどをする場合があります。
 - ③床暖房がある場所にビスやクギを打たないでください。
-

■クロスのお手入れ方法

- ①化学的洗剤で拭かないでください。
- ②部分的に剥がれたら、学習用デンプンのりで貼りつけてください。
- ③目地や切り口に隙間があります。白いコークボンドをさしてください。
- ④表面にキズがついたら、コークボンドで処理してください。
- ⑤室内の温度・湿度には十分注意してください。
目安（ 冬：温度18～20℃ 湿度40～50%
夏：温度25～27℃ 湿度50～60%

☆快適な室内環境を保つには

- 温度のロスを少なく
外気の影響を少なくするためにカーテンを閉めたり、扇風機を使って空気を循環すれば冷暖房の効率UP。
 - 除湿と加湿
湿度の高い夏場は除湿器、エアコンなどで除湿を。乾燥しがちな冬場は加湿器などを使って湿度をコントロール。
 - 換気
窓を開けて風を通したり換気扇を回したりして湿度を調節しましょう。
-

■カーテンレールの取り付け

- ①窓上には必ず耐火ボードの中に105幅の下地を入れてあります。そこに25mm以上の長さのビスで止めてください。
 - ②天井には基本的には下地は入っていません。どうしても天井にレールを止めたい時は、化粧の下地材を付けてレールを取り付けてください。
-

■半地下・地下室のある住宅

- ①排水ピットのあるお宅は必ず排水ポンプが作動するかの確認を1年に2回以上行い、モーターが回っているかをチェックしておいてください。
 - ②大雨の時、絶対浸水しないという保証はありません。その対策を考えておいてください。
-

■太陽光パネル

- ①各メーカーと保守点検契約を結んでください。
 - ②毎月の売電量などの資料を集めておき、全く発電していないなどという事がわかったら連絡してください。
 - ③他の業者が屋根に登るときは（アンテナ設置など）パネルに絶対に乗らないよう注意してください。
-

■玄関タイル

- ①ノンスリップの為、汚れます。
 - ②こまめに水洗いしてください。
 - ③雪の時は十分に気をつけて歩いてください。
-

■浄化槽の保守点検契約を結んでください

（市役所等相談）

■雨水浸透ますの詰まり防止のため定期的に掃除を行なってください

住宅のサポートはこちらで受け付けます。

OPEN HOUSE Architect
OWNERS' CLUB



株式会社オープンハウス・アーキテクト
カスタマーサポート部

■24時間365日電話受付対応■

0120-23-9009